



特定非営利活動法人

きんたろう倶楽部

平成 26 年 度 通 常 総 会

と き 平成 26 年 5 月 30 日 (金) 午後 1 時 30 分

と ころ 富山市ファミリーパーク 自然体験センター

NPO法人きんたろう倶楽部平成26年度通常総会 資料一覧

第1号議案 平成25年度事業報告について

資料1-1：平成25年度事業報告概要

資料1-2：平成25年度事業報告

第2号議案 平成25年度収支決算について

資料2-1：平成25年度末の財産目録と貸借対照表

資料2-2：平成25年度一般会計決算報告概要

資料2-3：平成25年度特定非営利活動に係る事業会計収支決算書

資料2-4：平成25年度収支決算書（2）積立金会計

資料2-5：監査の実施結果について

第3号議案 平成25年度収支繰越金の処分について

資料3：平成25年度一般会計収支繰越金の一部を積立金会計へ
繰入れることについて

第4号議案 平成26年度事業計画について

資料4-1：平成26年度事業計画概要

資料4-2：平成26年度事業計画

第5号議案 平成26年度収支予算について

資料5-1：平成26年度収支予算概要

資料5-2：平成26年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

第6号議案 役員選出について

資料6：役員名簿案

平成25年度事業報告概要

【森づくり】

きんたろうの森での月2回の定期活動はこの倶楽部の中核活動である。25年度は天候に恵まれなかったこともあって10回の活動にとどまったが、延べ178人、平均18人の参加を得ている。24年度の平均17.2人とほぼ同じ数字である。緊急雇用の2人が減った分、県立大学の若い人達のコンスタントな参加があった。また25年度は試験的に、定例の水曜日ではない活動を9/28（土）に行った。北陸電力からの多数の参加があったが、会員の参加は逆に低調であった。26年度もさらに試みを継続しつつ、会員外の体験参加の機会として位置づけ直してみる。

昨秋には、きんたろうの森の整備活動を通して、古沢小学校4年生のESD教育の支援をした。子ども達が意欲的に竹林の整備に取り組んでくれて、倶楽部は活力を貰った。

「市民参加の森づくり」事業では、25年度新たに加わった民有地を含め8地区で、それぞれの地元と協働で整備活動を実施した。

その他、稲代、めひの野園もそれぞれの団体と協働で整備した。

参加延べ会員数は、飛越源流の森づくりなどの交流会を含め、24年度の445人（29回）に対し、同数の445人（27回）となったが、きんたろうの森整備活動の無い水曜日を実施日とした『さとやまの木道』の整備活動を含めれば、506人（32回）となる。

【地域の交流】

地域の諸団体と交流を広げ、めひの野園家族会、北陸電力、県総合支援学校、やまむろ保育園、悠久の森、NPEC（（公財）環日本海環境協力センター）とは、引き続き協働事業を実施した。とやまエコ広場、“まちづくりとやま”とそれぞれ協力して、六泉池での竹のゆりかご大作戦、ファミリーパークでのキャンドルナイトも引き続き実施した。

昨年に引き続いて、市民いきものメイト、バンブーセイブジアースと協働で、山王まつりで竹クラフトづくりをし、これらの経験を活かして、7月には越中大手市場で、9月にはファミリーパークの輝けいのちの集いで、初めて当倶楽部単独で竹クラフト作りを実施した。

新たに、園芸療法ネットワーク富山の、わくわく田んぼを利用した体験イベントに協力した。

なお、悠久の森フェスティバルで実施していた恒例の流しそうめんは、25年度は実施を見送り、『さとやまの木道』のオープニングイベントに専任した。

【里山の利活用】

25年度からインデペンデンス・ボードウォーク『さとやまの^{こみち}木道』の整備を開始した。24年度末から準備を始め、8月から施工を開始し、9/1（日）の悠久の森フェスティバルに合わせたオープニングイベントや日本海ガスの40枚打付けなど、16回の活動で17

スパン34mの整備をした。延べ147名の会員の参加があった。

薬草事業では、市民いきものメイトと共同で薬草講座を開催し、本倶楽部はアムチ小川氏招聘講師の講座（第1回）およびエゴマに関する講座（第3回）を担当した。毎回、会員内外から多数の問い合わせがあり、関心の高さが伺えたが、5回の講座で146人の受講者に絞らせてもらった。

ハーブ事業では、パークのハーブ坂管理をしながら、ラベンダースティック作りの有料講座を実施する準備と試行をした。

女性会員が中心になって24年度から始めたアロマづくりは、春にも開催し年2回の実施とした。半数以上が会員外からの参加で16名にのぼった。

里山自然セラピーは、思ったほど参加者が多くない。参加者の感想は良好なので、広報の方法を工夫する必要がある。

ノルディックウォークは、秋と冬の2回実施した。秋は、呉羽丘陵へ大きく足を延ばし、冬は自然体験も充実させるなど（かんじきは雪不足で体験できなかった）、新しく変化を付けた。

今後注力したいとしている子どもたちを媒介にした自然体験活動では、8月に県立大学、ファミリーパークの協力を得て『森の冒険キャンプ』を実施した。また、10月には県立大学の『呉羽丘陵たんけん隊』の実施に協力した。それぞれ19名、7名の子どもたちの参加があった。実施にあたっては、24年度に派遣した「自然体験活動指導者養成講座」の受講者が全員参加し、経験を積んだ。

【人材育成】

多くの会員が受講済みの”とやまの森づくりサポートセンター”実施の刈払機講習会の修得技術を、きんたろうの森（初級）やわくわく田んぼの法面（中級）で計画的に実践してもらって習熟度を高めている。また、手鎌の安全講習をきんたろうの森整備に合わせて実施、救命講習会（こども編）をファミリーパーク職員の参加も得て、パーク内で開催するなど、サポートセンター頼みだけでなく自前の講習会も開催した。

「くれは森ビト養成連続講座」については、25年度は計画作成のみとした。

25年度も受講希望者を派遣する計画であった「自然体験活動指導者養成講座」は、近隣での実施がなかったため、受講出来ていない。

【会員数】

年度末の会員数は、正会員64名（+6-1）、倶楽部会員75名（+3-5）、賛助会員20口（±0）である。イベント参加者の入会と人脈を通じての入会がほぼ半数ずつである。賛助会員については、独自の増強活動が必要である。

平成25年度事業報告

【森づくり事業】

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	人数
4/3(水)	森づくりリーダー会		11
4/17(水)	きんたろうの森開所式	安全祈願・下草刈り・竹林整備	29
4/21(日)	森づくりボランティア交流会	場所：魚津市坪野地内 主催：とやまの森づくりサポートセンター	9
4/27(土)	呉羽丘陵竹林整備ボランティアの集い	主催：富山市公園緑地課	22
5/8(水)	きんたろうの森整備	竹林整備、下草刈り	22
5/20(月) ～7月末	幼竹除伐	ファミリーパーク内全域の竹林整備 (全16日)	89
5/22(水)	きんたろうの森整備	竹林整備、下草刈り	16
5/24(金)	とやま森の祭典	場所：滑川市スポーツ・健康の森公園 主催：(公社)とやま緑化推進機構他	8
6/5(水)	きんたろうの森整備	竹林整備、下草刈り	14
6/15(土)	日立国際電気の森整備	日立国際電気の森の下草刈り 日立国際電気と協働	26
6/19(水)	きんたろうの森整備	風雨のため中止	
6/26(水)	山田koroりんの森整備	山田koroりんの森下草刈り	8
7/4(水)	きんたろうの森整備	風雨のため中止	
7/6(土)	婦中ふるさと自然公園整備	婦中・各願寺裏手の竹林整備 地元住民、ガイア自然学校と協働	16
7/7(日)	飛越源流の森づくり	岐阜県高山市清見町夏厩地内 主催：NPOどんぐりの会	18
7/17(水)	きんたろうの森整備	下草刈り	18
9/15(日)	とやまの森づくりボランティアの集い	場所：氷見市海浜植物園 主催：とやまの森づくりサポートセンター	10
9/18(水)	きんたろうの森整備	下草刈り	13
9/21(土)	富山国際大学里山林整備	中低木・草本伐採。 国際大学と協働	24
9/28(土)	きんたろうの森整備	北陸環境プランナーと協働	26
10/9(水)	きんたろうの森整備	中低木の伐採、雑木集め	10
10/19(土)	日立国際電気の森整備	森の階段づくり、下草刈り 日立国際電気と協働	34
10/20(日)	飛越源流の森づくり	岐阜県高山市清見町夏厩地内 主催：NPOどんぐりの会	7

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	人数
10/23(水)	きんたろうの森整備	古沢小ESD下見	18
10/26(土)	かぐや姫の里の集い	場所：めひの野園 主催：とやまの森づくりサポートセンター	4
10/31(木)	きんたろうの森整備	古沢小4年生と竹林整備 (ESD)	20
11/6(水)	きんたろうの森整備	中低木の伐採、下草刈り	12
11/8(金)	きんたろうの森整備	古沢小4年生と竹林整備 (ESD)	21
11/12(火)	割山森林公園天湖森整備	散策道の整備、雑木伐採、下草刈り	108
11/20(水)	きんたろうの森整備森仕舞	強雨のため、室内で活動の振り返り	9
12/1(土)	小羽の森整備	スギ林の除伐	18
12/25(水)	きんたろうの森整備	竹の片づけ作業	3
		合 計	643

【地域交流事業】

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	人数
4/20(土)	稲代地区国有防風林整備	名古屋シティフォレスター、富山森林管理署と協働	28
5/19(日)	呉羽丘陵竹林整備西金屋地区	めひの野園家族会、北陸電力と協働。 めひの野園裏の竹林整備	34
5/20(月) ~6/10(月)	竹のゆりかご大作戦	主催：とやまエコ広場 六泉池で人口産卵床の調査 全4回	8
6/1(金)	山王まつりクラフト	市民いきものメイト、バンブーセイブジヤースと協働で竹クラフト	1
6/8(土)	県総合支援学校竹林整備	学校裏手の竹林整備 総合支援学校 PTA と協働	63
6/21(金)	キャンドルナイト用竹伐り	まちづくりとやま、ファミリーパークと協働。	4
6/23(土)	キャンドルナイト	主催：富山市ファミリーパーク	2
6/29(土) ~30(日)	JUON (大学生協が設立したNPO法人)	JUON第15回総会・記念イベント	4
7/24(水)	稲代地区国有防風林草刈	名古屋シティフォレスター、富山森林管理署と協働	16
7/28(日)	越中大手市場竹クラフト	市民プラザ前で、流しそうめん と竹クラフト(水鉄砲づくり)	6
9/1(日)	悠久の森フェスティバル	「さとやまの木道」オープニングイベント	19
9/23(月)	輝けいのちの集いクラフト	ピーピー笛づくり	4

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	人数
9/25(水)	海辺の漂着物調査	岩瀬海岸で岩瀬小学校等と共に (公財)環日本海環境協力センターの 事業に参加協力	8
11/5(火)	子守ネット植樹活動	やまむろ保育園と協働で植樹地の草 取り	32
		合 計	229

【里山の利活用事業】

(1) 薬草事業

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	人数
5/25(土)	薬草講座1下見	パーク園内	5
6/16(日)	薬草講座1 担当	さあ、山に入って薬をつくろうよ！	34
7/21(日)	薬草講座2 協力	初夏の里山の薬草を知ろう！	41
9/4(水)	薬草講座3プレ	エゴマの試食と現地の下見	5
9/8(日)	薬草講座3 担当	エゴマを利用し、食べようよ！	17
9/17(火)	薬草講座5下見	金丸ハーブ園	3
10/6(日)	薬草講座4 協力	秋の里山の薬草を知ろう！	27
10/20(日)	薬草講座5 協力	ハーブティで元気になろう！	27
		合 計	159

(2) ハーブ事業

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	人数
	ハーブ畑維持管理	草取り、刈込、冬支度全10日	25
7/11(木) ~31(水)	ラベンダースティックづくり	ラベンダー刈取り体験、 ラベンダースティックづくり	2
		合 計	27

(3) アロマづくり

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	人数
4/30(火)	里山の草木でアロマづくり下見	八尾角間の森	6
5/18(土)	里山の草木でアロマづくり	八尾ゆめの森元気村	14
9/21(土)	里山の草木でアロマづくり下見	富山国際大学キャンパスの森	6
10/5(土)	里山の草木でアロマづくり	富山国際大学	16
		合 計	42

(4) 里山自然セラピー

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	人数
11/9(土)	秋の里山自然セラピー	秋の里山散策と薬湯、薬膳	6
		合 計	6

(5) ノルディックウォーク

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	人数
11/30(土)	秋の里山ノルディックウォーク	呉羽丘陵をポールを使って散策	15
2/22(土)	冬もやっぱりノルディックウォーク	呉羽丘陵をポールを使って散策	17
		合 計	32

(6) 里山キャンプ

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	人数
8/7(水) ～8(木)	森の冒険キャンプ	ファミリーパーク・県立大学と連携で冒険キャンプを実施	33
10/12(土) ～14(祝)	呉羽丘陵たんけん隊	ファミリーパーク・県立大学と連携し呉羽丘陵探検キャンプ	16
		合 計	49

(7) 呉羽丘陵マップ作り

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	人数
10/1(火)	呉羽丘陵ウォーキングマップ	実施踏査（呉羽丘陵多目的広場～呉羽ハイツ）	3
10/13(日)	呉羽丘陵ウォーキングマップ	実地踏査（呉羽丘陵）	16
		合 計	19

(8) わくわく田んぼ

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	人数
4月～9月	わくわく田んぼ維持管理	ファミリーパークわくわく田んぼのあぜぬり、草取り、のり面除草他（全8日）	31
		合 計	31

(9) I BW

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	人数
4/7(日) ～8(月)	基礎施工研修	三木（兵庫）槇山の道	4
4/28(日)	キックオフイベント	ロードペインティング	20

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	人数
5/9(木)	近隣実践地視察	金沢医王の里	7
6/12(水)	丸太杭皮むき	皮付き丸太杭の皮むき	15
8/21(水)	基礎施工	9/1向け基礎部準備	13
8/25(日)	プレイベント	高岡市身体障害者協会 1 スパン	25
8/28(水)	基礎施工	9/1向け基礎部準備	13
8/29(水)	プレイベント	どんぐり山学童クラブ 1 スパン	26
9/1(日)	オープニングイベント	8スパン	19
10/23(水)	基礎施工	延伸用基礎部準備	13
10/26(土)	打ち付けイベント	日本海ガス40ファミリー 3 スパン	48
10/29(火) ～30(水)	近隣実践地視察	門前「絆の木道」視察	12
11/19(火)	打ち付けイベント	富山県立大学九里ゼミ 1 スパン	6
12/4(水)	延伸ルート測量・決定	延伸ルートの現地測量・ルート探索	10
12/11(水)	メッセージボード描き	きんたろう倶楽部の大メッセージ 1 スパン	10
3/5(火)	打ち付けイベント	富山県立大学環境工学科卒業記念 1 スパン	8
		合 計	239

【人材育成】

月 日	活 動 名 称	活 動 内 容	人数
5/21(火)	刈り払い機講習会（中級編）	田んぼの法面を使って、刈り払い機 免許取得者の講習会	7
5/26(日)	森づくり塾	竹林整備講習会（きんたろうの森） 主催：とやまの森づくりサポートセンター	7
9/18(水)	森づくり講習会	手鎌作業時の安全管理講習会	13
12/11(水)	救命講習会（こども編）	ファミリーパーク職員も参加	18
1/25(土)	呉羽の里山講演会	呉羽山越えの変遷をたどる	16
		合 計	61

平成25年度の財産目録と貸借対照表

1. 「NPO 法人きんたろう倶楽部が所有する財産目録」

(品目)

預 金	2, 805, 397円	(平成25年度積立金会計残高)
預 金	3, 429, 135円	(平成25年度末現在の一般会計残高)

2. 「年度末貸借対照表」(平成 25 年度末)

資産の部

(流動資産)

預 金	6, 234, 532円	(一般会計、積立金会計)
未収金	0円	

(固定資産)

土地建物	0円
------	----

(その他の資産)

出資金	0円
-----	----

(資産の合計) 6, 234, 532円

負債の部

(流動負債)

借入金	0円	
未払い金	0円	
準備、引当金	0円	
預り金	95, 683円	(社会・雇用保険料、所得税)

資本の部

(資本金)

資本金	0円
積立金	2, 805, 397円
収支差額	3, 333, 452円

(負債資本の合計) 6, 234, 532円

平成25年度一般会計決算報告概要

【収入】

会費収入は、会員数が増加していないことで予算を下回ったが、ファミリーパークからの委託事業の作業量増加などにより（ただしコウゾ畑管理は支出と相殺）、収入合計は予算を上回った。また、プルデンシャル保険からの寄付の申し出により（e約款により削減された経費を森林保全団体に寄付）、一時的な増加となった。

また、オレンジマートからの寄付金が積立金会計に積み上げられたまま使用されていなかった状況を改めて、今期分15万円を含む累積分52万円を、『さとやまの木道』資金として使用することとした。（先方了解済。平成25年度第3回理事会で承認（参考資料1））

【支出】

支出の面では、事業費が804千円の超過（コウゾ畑分を差し引くと504千円）であるが、大半がI BWの予算超過であり、他の事業全体としては、ほぼ予算通りである。管理費もほぼ、予算通りであり、全体としては844千円の超過（コウゾ畑分を差し引くと544千円）となった。

I BWの予算超過の主なものは、予期しない工具の必要とポスカの大幅な消耗量増加による。ポスカの増量にも拘わらずI BWの通常の運営費は、現状では当初見積もりより低く（まだ、修理費などは発生していないが）、今後も赤字が続くことはないと考えている。

森づくり事業で支出が突出したのは、チップパー機、チェーンソーのメンテナンス時期が重なってしまったこと、およびチップパー機の故障修理による。

里山キャンプは、ファミリーパークと共同実施することで費用の負担がなかった。

管理費の、旅費交通費の増加は、今後の自然体験活動人脈形成のために参加研修会等を増やしたことによる。今後成果となって現れるものである。

【収支】

単年度では501千円の赤字となった。当初予算では当期775千円の赤字と見込んでおり、見掛け上274千円赤字を減額しているが、オレンジマート累積寄付分とプルデンシャル保険からの寄付金を考慮すれば、426千円の赤字増額となる。したがって、実質の当期収支は120万円程度の赤字と言わざるをえない。I BWの初期費用50万円程度を差し引いても70万円程度となる。昨年度の単年度赤字40万円よりも大きくなっている。昨年度から重点分野創造雇用事業分543万円（人件費を除くと108万円）の収入減が吸収できていないと言える。

平成25年度特定非営利活動に係る事業会計収支決算書

平成24年4月1日から25年3月31日まで

特定非営利活動法人きんたろう倶楽部

一般会計

(単位:円)

科目・摘要	決算	予算	差額	備考
I 収入の部				
1 会費収入				
(1) 正会員会費収入	280,000	350,000	-70,000	未納8名
(2) 倶楽部会員会費収入	118,000	176,000	-58,000	未納17名
(3) 賛助会員会費収入	90,000	190,000	-100,000	未納1口
	488,000	716,000	-228,000	
2 事業収入				
(1) 森づくり事業	20,000	40,000	-20,000	チップパー機貸出し
(2) 人材育成事業	0	15,000	-15,000	
(3) 里山の利活用事業	125,608	224,000	-98,392	
(4) 地域の交流事業	24,000	30,000	-6,000	竹クラフト
(5) IBW	1,527,969	825,000	702,969	参加者・企業募金 + オレンジマート累積分52万円を積立金会計より繰入れ (平成25年度第3回理事会承認)
	1,697,577	1,134,000	563,577	
3 助成事業収入				
市民参加の森づくり	540,000	500,000	40,000	増額 富山市
保険料支援金	218,010	200,000	18,010	とやまの森づくりサポートセンター
活動支援金	60,000	60,000	0	とやまの森づくりサポートセンター
IBW初期費用	500,000	500,000	0	富山市
支援				IBW収入合計 2,027,969
	1,318,010	1,260,000	58,010	
4 委託事業				
(1) 富山市森のちから	4,300,000	4,300,000	0	
(2) わくわく田んぼ 維持管理作業	130,220	152,000	-21,780	
(3) 幼竹除伐作業	261,215	105,000	156,215	作業量増加
(4) ハーブ坂管理	61,220	20,000	41,220	
(5) コウゾ畑管理	300,000	0	300,000	追加
(6) 竹のゆりかご委託	20,000	0	20,000	追加
	5,072,655	4,577,000	495,655	当期収入合計の57%
6 その他				
(1) 寄付金	180,396	0	180,396	プルデンシャル保険
(2) 利息	567	500	67	
(3) その他	97,350	50,000	47,350	車売却+三井交通費補助×2
	278,313	50,500	227,813	
当期収入合計(A)	8,854,555	7,737,500	1,117,055	

科目・摘要	決算	予算	差額	備考
Ⅱ 支出の部				
1 事業費				
(1) 森づくり事業				
保険料	221,668	220,000	1,668	
活動消耗品費	78,582	55,000	23,582	チップパー機刃砥ぎ¥71,532、替刃
食糧費	69,045	0	69,045	活動消耗品費として計上
燃料費	37,303	50,000	-12,697	ガソリン代他
委託費	15,750	50,000	-34,250	チップ運搬
修繕費	179,817	0	179,817	チップパー機修理 +チェーンソー他メンテ
研修費	10,967	16,000	-5,033	森林ボランティア会議
	613,132	391,000	222,132	
(2) 人材育成事業				
講師料	0	15,000	-15,000	連続講座は来期開始
研修費	0	50,000	-50,000	近隣でのCONE等講座実施なし
	0	65,000	-65,000	
(3) 里山の利活用事業				
人件費	0	37,000	-37,000	
活動消耗品	35,097	64,000	-28,903	
講師料	10,000	40,000	-30,000	
リース料	20,860	0	20,860	
施設利用料	15,500	0	15,500	
委託費	300,000	0	300,000	追加コウゾ畑管理
	381,457	141,000	240,457	
(4) 地域交流事業				
活動消耗品費	9,119	30,000	-20,881	
	9,119	30,000	-20,881	
(5) I BW				
活動消耗品	1,133,241	860,000	273,241	木部材、工具+ポスカ 20スパン分木部材在庫
研修費	9,450	100,000	-90,550	基礎施工研修（三木）
講師料	5,000	20,000	-15,000	
旅費・交通費	32,903	20,000	12,903	基礎施工研修（三木）
リース料	126,307	0	126,307	医王の里および門前視察レンタカー
諸会費	100,000	100,000	0	I. B. O. Japan
事務消耗品費	6,264	0	6,264	
広告料	113,977	0	113,977	パンフレット、チラシ
	1,527,142	1,100,000	427,142	I BW次年度繰越 500,827
事業費合計	2,530,850	1,727,000	803,850	

科目・摘要	決算	予算	差額	備 考
2 管理費				
給与・通勤・賞与	4,888,000	4,890,000	-2,000	
福利厚生費	788,713	750,000	38,713	
通信費	164,741	180,000	-15,259	電話・メール便・インターネット
新聞図書費	35,844	40,000	-4,156	新聞購読料
リース料	393,435	402,000	-8,565	コピー機・軽自動車
事務消耗品費	217,797	300,000	-82,203	コピー用紙・トナー・パソコン更新
租税公課	9,800	20,000	-10,200	収入印紙
研修費	5,000	50,000	-45,000	
保険料	77,340	70,000	7,340	
手数料	10,865	10,000	865	振込手数料
修繕費	0	10,000	-10,000	
人件費・雑費	45,500	10,000	35,500	有償ボランティア（幼竹伐採等）
旅費交通費	186,100	50,000	136,100	三井×3、サイバーフォレストシンポ、青年里山フォーラム、他
諸経費	2,500	3,000	-500	会費
管理費合計	6,825,635	6,785,000	40,635	
当期支出合計	9,356,485	8,512,000	844,485	

当期収支差額	-501,930	-774,500	272,570	
前期繰越額	3,835,382	3,835,382	0	
当期繰越収支差額	3,333,452	3,060,882	272,570	

平成25年度収支決算書 (2) 積立金会計

(収入の部)

(単位：円)

科 目	決 算 額	備 考
前期繰越金	3,174,869	前年度繰越金
積立金収入	150,000	寄付金 (オレンジマート)
貯金利息	528	預金利子
収入合計	3,325,397	

(支出の部)

(単位：円)

科 目	決 算 額	備 考
	520,000	一般会計 (IBWオレンジマート寄付金) へ
支出合計	520,000	

次期繰越金額	2,805,397 円
--------	-------------

監査の実施結果について


定款第 15 条第 4 項第 2 号並びに第 46 条の規定により監査を実施した結果について報告するもの。

(監査結果)

NPO 法人きんたろう倶楽部定款第 15 条第 4 項第 2 号並びに第 46 条の規定に基づき、NPO 法人きんたろう倶楽部の平成 25 年度にかかる業務を監査したところ、事業の内容及び収支決算は説明資料の通り適切に執行されているものと認めます。

平成 26 年 5 月 20 日

監事

田畑宏 謹 

監事

市森友明 

平成25年度一般会計繰越金の一部を積立金会計へ繰り入れることについて

<提案>

平成25年度一般会計繰越金3,333,452円を、次のように処理する。

- 2,033,452円を、平成26年度一般会計への繰越金とする。
- 平成26年度一般会計へ繰り越さない残額1,300,000円は、積立金会計へ繰り入れる。

<理由>

- 会計規模に比較して、一般会計繰越額が大き過ぎる。資金の有り余っている団体のように勘違いされるところがある。
- 単年度収支を赤字にしない意識づけにとってもプラスとなる。
- 平成26年度一般会計へ繰り越す200万円余りは、市からの委託事業費等が振り込まれる7月までの運転資金として必要な金額である、

平成26年度活動計画案概要

【概要】

倶楽部の中核活動であるきんたろうの森の整備を継続しつつ、「さとやまの^{こみち}木道」の年間を通じた整備を実施する。

また、「くれは森ビト養成連続講座」を新規に開始し、呉羽丘陵自然解説員を養成して行くとともに、自然体験活動指導者の県内人脈の構築を進める。この機会に、ファミリーパーク内の活動を意識的に呉羽丘陵へ広げていく。

里山キャンプを中心とした人材育成事業で、2つの助成金に採択された。県立大学と連携しつつ、確実な成果に結び付けていく。

【森づくり】

8地区となった「市民参加の森づくり」事業は、引き続き着実に実施する。

きんたろうの森では、月2回の定期活動を引き続き実施して行くが、その一部をさとやまの木道のルート整備にも活かしていく。数年にわたるきんたろうの森での活動を一旦まとめて、倶楽部のアピール材料として使って行く。

【地域の交流】

地域の諸団体との協働事業は、継続して実施する。

子ども達を媒介とした交流に積極的に参加し、ノウハウを吸収し、倶楽部が中心となって実施できるようにしていく。

「さとやまの木道」の整備を続けるには、地域の諸団体・企業の支援も欠かせない。これを機会に、これら諸団体・企業との連携を大きく広げる。

また、地域の集まりで出前講座を開催させてもらい、活動を紹介しながら倶楽部への参加を呼び掛ける。地域での認知度を上げながら新会員の発掘を図る。

【里山の利活用】

今年度実施したものは、来年度も引き続き実施する。

薬草講座、ハーブ講座、アロマづくりは、新たに開始する「くれは森ビト養成連続講座」の中に位置づけて実施する。

県立大学などと連携して、里山キャンプを中心とした体験型環境教育プログラムを、今年度の2回のキャンプを発展させて8回実施し（内くれはで4回）、子どもたちの自然体験プログラムの充実を図る。また、これらのキャンプには、別に実施する「くれは森ビト養成連続講座」の受講者の参加を促し、学習成果の実践の場とする。このうち、くれはで実施する4回のたんけん隊と「くれは森ビト養成連続講座」の中で実施する「自然

体験活動指導者養成講座（NEAL）」（6月）を合わせて、セブンイレブンの助成金（62万円）に採択された。また、呉羽以外で実施する4回のキャンプとそれを準備するための地元との交流およびそれらの活動に参加する学生の人材育成で、地球環境基金の助成金（300万円）に採択された。どちらも関係団体と連携して、確実な成果に結び付けていく。

【さとやまの木道整備】

4月から11月までの年間を通じた整備を通じて、コンスタントな整備方法と活用方法を検討する。年4回程度（開園記念日、GW、ホタル夜間開園、夏休み、悠久の森、健康ウォークなどの内から選択）の一般の整備・活用イベントと数回の団体による整備で、30スパン60m程度の整備を想定している。それに合わせて、ルート下整備、測量、基礎施工、仕上げなどを計画して行く。

また、後半には（累計40スパン目あたり）初めてのフォレストライブラリー（ちょっと休憩などできる広いスペース）も整備する予定である。

実際に木道が見えるようになり、整備の様子も分かって来たので、資金提供の呼び掛けを強めて行く。

【人材育成】

「くれは森ビト養成連続講座」を新規に開始し、呉羽丘陵自然解説員を養成して行くとともに、自然体験活動指導者の県内人脈の構築を進める。

この講座は、毎年テーマを変え、自然解説の実践を交えながら、呉羽丘陵自然解説員を養成して行くものである。今期は薬草を中心に（薬草・ハーブ・クロモジアロマ）実施し、4月開始で全6回を予定しており、その内の2回（1泊2日の座学と里山キャンプによる実践）を、『自然体験活動指導者養成講座』（NEALリーダーの資格認定・昨年度福井へ派遣した講座）として実施する。

このNEAL講座の実施資格を得るため、自然体験活動推進協議会（NEAL）の認定団体となる（年会費3万円）。自ら『自然体験活動指導者養成講座』を開催することにより、会員の受講を促進できるし、県内の自然体験活動指導者の人脈を取りまとめることができ、今後の自然体験活動実施の大きな力になる。今後継続的に実施して行く計画である。

県立大学の学生を中心に、里山やESDに興味を持つ県内の学生を集め「きときとカレッジ」を始めている（5/10（土）立ち上げ）。里山キャンプの準備などで地域の人たちと交流したり、呉羽丘陵マップづくりなどの実践を通して、里山への興味を喚起していく。（地球環境基金採択）

とやまの森づくりサポートセンター等で修得した技術等を、倶楽部の活動の中で発揮してもらうことに配慮して行く。特に多くの会員が修了している刈払機については、計画的に実践に活かし、技術の向上をはかる。

【会員数】

魅力ある活動を通じて、会員増に努める。

ホームページ、FACEBOOKでの情報発信、また、新聞等への露出度を積極的に増やして、市民への認知度を上げる。

「さとやまの木道」整備を機会に、多くの新しい人たち・企業との接触が生まれる。「さとやまの木道」への支援を依頼するとともに、倶楽部への理解と支援もお願いし、会員の拡大を図る。また、地域でも出前講座などで倶楽部への参加を呼び掛ける。

次の会員数を目標とする。()内は、昨年度末の数字。

正会員80人(64)、倶楽部会員100人(75)、賛助会員50名(20)

平成26年度事業計画 (案)

事業区分	事業内容	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月					
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
森づくり	市民参加の森づくり							★	★		★						★			★			★	★																
	きんたろうの森	← 第1・第3水曜日									← 第1・第3水曜日																													
	地域と協働の森づくり	★	★			★		★			★									★																				
	幼竹除抜(ファミリーパーク)				← 2日/週×7週																																			
地域の交流								★	★						★			★	★													★		★						
								山王祭クラフトキャンドルナイト						悠久の森			漂着物調査いのちの集い															地域出前講座								
里山の活用	IBW さとやまの木道	↔						↔						↔			↔						↔									↔								
	基礎施工打付けイベント							基礎施工打付けイベント							基礎施工打付けイベント							基礎施工打付けイベント										基礎施工打付けイベント								
	里山キャンプ							★			★			★			★			★			★			★			★			★								
	呉羽丘陵マップづくり													★						★						★			↔											
	薬草事業		★		★						↔									☆						☆														
	里山自然体験・セラピー							★	★											★			★	★		★						★								
わくわく田んぼ・ハーブ坂の維持管理				★																																				
					あぜぬり			草刈り(あぜ、のり面、ハーブ坂)、水草取り わくわく田んぼ活動補助																																
人材育成	くれは森ビト養成連続講座		☆		☆			★	☆			★			☆											★			★											
	地域人材・若手人材の育成										←			★			★			★			★			←			←			★								
	森づくり塾受講支援				←															←																				
					とやまの森づくりサポートセンター「森づくり塾」受講支援																																			

平成26年度収支予算案概要

【概要】

倶楽部のもっとも大きい資金源である富山市からの委託事業「森のちから」は、今年度も受託額が削減された。減額は20万円である。その分は、会員増や事業収入増でカバーして行かなければならない。

今年度は、里山キャンプを中心とした人材育成事業で、2つの助成金に採択され、一時的に360万円余りの収入がある。確実に成果を挙げて、引き続き採択の足掛かりにしなければならぬ。

【収入】

会員増により7万円の収入増を図る。また未納会費の回収に努める。

里山の利活用、人材育成の両事業の収入は、昨年度から大幅に増額させているが、これらは、里山キャンプとNEAL講座などで支出される予定のものである。

I BW事業は、現在ところ僅かではあるが収入に寄与している。

委託事業については、「森のちから」は減額となったが、ファミリーパークからの受託額は、昨年並みである。

【支出】

事業費で、昨年度と大きく変わるのは、里山の利活用と人材育成である。これらには、2つの助成金で行う事業の経費が大きく加えられている。(8回の里山キャンプ、呉羽丘陵マップづくり、NEAL講座、きときとカレッジなど)

I BWは、立ち上げの費用が不要になり、定常期に入るが、秋には初めてのフォレストライブラリーを作成する予定であり、その費用を見積もった。

管理費は、昨年度大幅に減額したが、ほぼ予算内で納まった。今年度は、新たな事業が増えるが、研修費や事務消耗品を助成金から支出することで、さらに減額した。

【収支】

予算案上は、単年度では2万円の黒字となるが、会員の増加と会費の100%回収を前提としている。

また、引き続き、事業収入の増加を図り、各種助成金にもトライする。

平成26年度収支予算案

科目・摘要	金額	小計・合計	備考
I 収入の部			
1 会費収入		785,000	
正会員会費収入	360,000		会費@5000x72人(64→80)
倶楽部会員収入	175,000		会費@2000x88人(75→100)
賛助会費収入	250,000		会費@5000x50口
2 事業収入		2,320,000	
(1)森づくり事業	20,000		チップパー機貸出
(2)地域の交流事業	30,000		体験事業参加費
(3)里山の利活用事業	900,000		里山キャンプ、アロマづくりなど
(4)人材育成事業	380,000		NEALなど
(5)IBW	990,000		IBW協賛金、ボード30スパン分
3 助成事業収入		4,381,430	
市民参加の森づくり	500,000		富山市
保険料支援金	200,000		森づくりサポートセンター
活動支援金	60,000		森づくりサポートセンター
地球環境基金助成金	3,000,000		(独法)環境再生保全機構
セブンイレブン助成金	621,430		セブンイレブン記念財団
4 委託事業		4,377,000	
富山市森のちから	4,100,000		富山市
わくわく田んぼ維持管理	152,000		ファミリーパーク
幼竹除伐	105,000		ファミリーパーク
ハーブ坂管理	20,000		ファミリーパーク
5 その他		500	
寄付金	0		
利息	500		北陸銀行
その他	0		
当期収入合計(A)		11,863,930	

科目・摘要	金額	小計・合計	備考
II 支出の部			
1 事業費		5,275,579	
(1)森づくり事業		427,000	
保険料	232,000		ボランティア保険賠償・傷害・動力
活動消耗品費	80,000		食糧、消耗品
委託費	15,000		チップパー機運搬
修繕費	50,000		チップパー機メンテナンス
人件費	50,000		有償ボランティア
(2)地域交流事業		5,000	
活動消耗品費	5,000		クラフト工具
(3)里山の利活用事業		2,621,599	
人件費	960,000		里山キャンプ
謝金・講師料	92,000		里山キャンプ、ノルディックウオーク
旅費・交通費	50,000		里山キャンプ
備品購入費	630,000		里山キャンプタブレット
リース料	30,000		アロマづくり、里山自然セラピー
施設利用料	90,000		アロマづくり、里山自然セラピー
広報費	512,000		里山キャンプ県内小学生
保険料	20,999		里山キャンプ
通信費	30,000		里山キャンプ他
活動消耗品費	206,600		里山キャンプ他
(4)人材育成事業		767,000	
謝金・講師料	686,000		自然体験活動養成講座他
旅費交通費	122,780		自然体験活動養成講座
研修費	80,000		NEAL会費、受講者補助
備品購入費	70,000		里山キャンププロジェクター
リース料	320,000		アロマづくり、里山自然セラピー
施設利用料	66,000		アロマづくり、里山自然セラピー
広報費	90,000		里山キャンプ
通信費	30,000		里山キャンプ他
活動消耗品費	111,000		里山キャンプ他
(5)IBW		646,200	
材料費	442,000		木部材、金具
フォレストライブラリー 関係費	100,000		ベンチ、付属備品など
活動消耗品費	74,200		ポスカ、チラシ
食糧費	20,000		
諸会費	10,000		I.B.O.Japan

科目・摘要	金額	小計・合計	備考
2 管理費		6,568,174	
給料手当	4,888,000		給与 3,980,000, 賞与 880,000
福利厚生費	798,000		社会保険料、雇用保険他
通信費	160,000		電話、郵送、インターネット
新聞図書費	35,844		新聞購読費、図書費
リース料	427,330		コピー機リース166,000 軽自動車リース料261,000
保険料	65,000		軽四自動車保険料
燃料費	37,000		ガソリン代、機械燃料費
事務消耗品費	120,000		事務用品、コピー機トナー
租税公課	10,000		収入印紙、軽四自動車税
研修費	0		助成金から支出
旅費交通費	0		助成金から支出
手数料	14,000		振込手数料
修繕費	10,000		
諸会費	3,000		富山県社会保険協会会費
当期支出合計		11,843,753	

当期収支差額		20,177	
前期繰越収支差額		2,033,452	
次期繰越収支差額		2,053,629	

役員名簿案

特定非営利活動法人きんたろう倶楽部

任期：2年間

役名	氏名	報酬の有無	備考
理事	尾畑 納子	無	
理事	鏡森 定信	無	
理事	加藤 弘	無	
理事	黒田 哲也	無	
理事	渋谷 秀樹	無	
理事	飛田 由美	無	
理事	中沖 修一	無	
理事	中野 康英	無	
理事	堀田 博	無	
理事	山本 茂行	無	
監事	市森 友明	無	
監事	田畑 宏継	無	

平成25年度第3回理事会（H26. 1. 31）で承認済

オレンジマート累積寄付金の『さとやまの木道』資金への 繰り入れについて

<提案>

オレンジマートからの寄付金は、累積分を含めて、『さとやまの木道』の支援金として扱うものとする。

- ・累積分520,000円を、積立金会計から一般会計へ繰り入れ、『さとやまの木道』支援金とする。
- ・オレンジマートからの今後の寄付金は、オレンジマートから特段の申し入れがない限り、『さとやまの木道』支援金として扱う。

<経緯>

株式会社オレンジマートから、レジ袋販売の収益金の一部として、平成21年より毎年寄付金をいただいている。この寄付金については、特別の用途を定めないうまま、積立金会計に繰り入れており、本年度分15万円を加えて、累積額が52万円となっている。

折角のご厚意なので、何かまとまったものに使いたいと考え、上記のような提案とした。

昨年6月の、寄付金受取りの際に、先方の意向を伺ったところ、「ご自由にお使いください」とのことだったので、『さとやまの木道』の支援として使用したい旨、申し出て了解を得た。

その了解に基づいて、すでに次のように使用している。（¥133,000相当）

- ・『さとやまの木道』のどんぐり山学童クラブのプレイベント（8/30）に、メッセージボードを提供していただいた。なお、メッセージボードにはオレンジマートのロゴマークを入れた。
- ・オープニングイベントに、社長が参加されメッセージボードを1枚打付けていただいた。
- ・支援金提供の記念として、木道脇の脱輪止め柵6スパンに、オレンジマートの銘板を6枚打付けた。

